

科目名	社会福祉演習Ⅳ D					単位	2.0
担当教員	北島 知量						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	4	授業番号	3237

●授業のテーマ

発達の違いにどう向き合うか。

●到達目標

精神遅滞の実像をしり、各自なりの福祉・教育的支援を考える事ができる。

●学習内容(授業概要)

知的障害者の姿と、その福祉・教育的支援の全体について学ぶ。卒論を書く人には、個別の指導をする。書かない人は、ゼミ論として200字×20枚程度のものを提出してもらう。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 知的障害者のいる家庭
2. 知的障害者の子どもをもつ親
3. 障害児であることを受容（出生前診断）
4. 生活支援とは
5. 知的障害者と犯罪
6. 知的障害者と結婚
7. 知的障害者をめぐる裁判
8. 知的障害者施策
9. 親の育ち（精神遅滞）
10. 親の育ち（自閉）
11. 親の育ち（ADHD）
12. 親の育ち（学習障害）
13. 親と子の育ちを考える
14. 地域のサポートネットワーク
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

事前にテキストを読み、その周辺をネットで調べておくこと。出された問題につき、次回報告すること。

●成績評価方法・基準

課題報告50%、期末レポート50%

●テキスト（必携）

『そだちの科学』3

●参考文献／その他  
授業時に指示する。

●履修上の注意  
担当レポーターが欠席するときは、必ず代替りのレポーターをたてること。